

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	庭園学					授業形態	講義		
科目コード	231400	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	牧田 直子								
授業概要	<p>本授業では庭の本質や特質、人間の生活の基本となる住環境のあり方、現代社会における庭園の役割を学習する。庭は造園空間として最も基本的な単位であり、人々の生活にとって最も身近な環境で、住宅庭園は、暮らす人と、暮らし方、環境、地域など様々な要件が関係する。アイデアや、スケール観、法規など、設計する際に必要な知識を学ぶ。エクステリアプランナー資格（2級）取得を目指す内容であり、エクステリアプランナーとして必要な知識を身につける。住宅関連業界、コンサルティング業界で20年以上勤務し、戸建て住宅、分譲地等において、主にマーケティング業務に携わった経験を持つ教員が、実務経験から得た内容や業界の動向など最新情報や実例を提示しながら講義する。</p>								
関連する科目	造園学分野で設計や施工に関連する最初の専門分野となる。特に庭園学演習（設計）、造園ガーデニング実習Ⅰ（施工）と併せて履修を勧める。また、花卉園芸総論、樹木学を受講し、造園に関する基礎知識を同時に得ることも望ましい。								
授業の進め方 と方法	<p>授業では、座学型とアクティブラーニング型を併用する。座学型ではエクステリアプランナーとしての基礎学をテキストに沿って行う。パワーポイントで実例を挟みながら解説を行う。メモをとり本授業専用のノートを作成する。アクティブラーニングとしては提示されたテーマについて、背景や経緯、問題定義や疑問点を話し合うなど、グループディスカッション、アイデア想起、プレゼンテーションなどを実践する。</p>								
授業計画 【第1回】	<p>1. 原風景と美意識 庭の起源、庭の原点ともなる原風景について考える。西洋と日本の美意識の違いを学ぶ。各人の原風景を描写する。</p>								
授業計画 【第2回】	<p>2. 庭園計画コンセプト5W1HとPDCA 庭園計画に必要なコンセプトの考え方、コンセプト作成の手法について学ぶ。アイデア想起を行う。</p>								
授業計画 【第3回】	<p>3. 庭の提案、考え方 造園コンクールの過去の入賞作品を見て講評してみる。ここまで学習して得られた知識を生かして課題としている住宅庭園の提案を考え、コンセプトを作成する。 (アクティブラーニング)</p>								
授業計画 【第4回】	<p>4. 庭園とマーケティング（販売促進活動とコピーライティング） ものを販売するための仕組みや手法について学ぶ。 実際にコピーライティングを行う（アクティブラーニング）。</p>								
授業計画 【第5回】	<p>5. まちづくり、法規 街並みやまちづくりの考え方と住宅建築に関する法規について学ぶ。 テキストを参照する</p>								
授業計画 【第6回】	<p>6. エクステリアのプランニング プランニングのプロセスやエクステリアを構成する要素について学ぶ。 テキストを参照する</p>								
授業計画 【第7回】	<p>7. 構成部材 エクステリアに用いられる構成要素に関連する材料とその特徴について学ぶ。 テキストを参照する</p>								
授業計画 【第8回】	<p>8. 植栽 庭園植栽について学ぶ。 ナチュラルスティックガーデンの植栽技法、ハーブの効能なども解説する。</p>								
授業計画 【第9回】	<p>9. 原価管理と工程管理 積算について学ぶ。積算の練習問題を行う。また工程管理計画の作成方法を学ぶ。 (アクティブラーニング)</p>								
授業計画 【第10回】	<p>10. 庭の形式と様式 日本特有の庭園の形式や石組み、西洋庭園にみる庭園の要素などについて学ぶ。</p>								
授業計画 【第11回】	<p>11. 庭とは 庭、造園、エクステリア、園芸について、それぞれの違いや役割について学ぶ。 住宅庭園を設計する上で知っておかなければならない住宅（建築）の基礎、住宅業界について解説する。</p>								

授業計画 【第12回】	12. 造園家とその作品 代表的な造園家の庭園作品を解説する。またガーデニングコンテストの作品やガーデニングの現況の事例を見て今何が求められているのかを学ぶ。
授業計画 【第13回】	13. エクステリアの事例報告 自身が評価する庭（事例）を選び、発表する。（アクティブラーニング） 課題発表
授業計画 【第14回】	14. エクステリアプランナー2級試験対策 エクステリアプランナー2級試験の過去問を解いてみる。内容と解答を解説する。
授業計画 【第15回】	15. 総括 庭園とは、庭園設計に必要なこと、エクステリアプランナーとして必要なこと、庭園営業する際に大切なことなどを解説する。
授業の到達目標	庭園の本質や特質、利活用、法規、住宅市場に関する基礎知識、住宅庭園（エクステリア）の設計や提案に必要なアイデア想起力、マーケティング力、プレゼンテーション力の習得し、エクステリアプランナー2級レベルの知識を得ることを目標とする。 【専門分野の知識・理解】 また、知識や考え、事例をまとめ発表したり記述する基礎力を習得も目指します。 【専門分野のスキル】【課題発見・分析・解決力】【プレゼンテーション力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外の学修 【予習】	テキストを熟読し関連するキーワードや専門用語について調べる（毎回授業前に30分程度）。
授業時間外の学修 【復習】	授業でとったメモ等をまとめなおし、ノートをきちんと作成する（毎回授業後に30分程度）。
課題に対する フィードバック	提出物の返却時に問題点を指摘。 ノートをチェックを行う。
評価方法・基準	記述試験（80%）提出物や発表など（20%）
テキスト	第10版 エクステリアプランナー ハンドブック/エクステリアプランナー・ハンドブック編集委員会（著）3,850円（税込み） ネットや書店で購入可能。図書館でも貸出可。授業開始後に準備しても間に合う。
参考書	
備考	記述試験は直筆のノートのみ持ち込み可とする。